

み

らい平グラウンドでは、毎週火曜日から土曜日までの午前中、毎日トレーニングが行われている。選手たちは試合さながらの緊迫感で臨み、指導する富田監督の声が響く。

今回、練習を終えたFW吉葉暉選手、DF喜多佑真選手、GK本田大雅選手にインタビューをすることができた。

吉葉選手は、クラブの下部組織出身。いわゆる「生え抜き」のエースストライカーだ。今シーズンは2トップの一角を任されている。ゴールへの鋭い嗅覚はもろろんのこと、相手DFを背負うプレーや、裏に抜けるプレー、ゴール前でのチャンスメイクもバランスよくこなす万能型FWだ。最近はやディンダでのゴールが増え、リーグでも決勝ゴールを頭で決めるなど、武器になっている。

喜多選手は、現在チームのキャプテンを務めている。左右のサイドバックのほか、中盤もこなすユーティリティープレイヤーだ。今シーズンは右サイドバックでプレー。スルーパスやクロスをあげ、ゴールにつながるラストパスを通すのが持ち味。コーナーキックやフリーキックなどのセットプレーのキッカーも務める。

本田選手はゴールを守るチームの守護神。試合中も常に声を張り上げ、味方を鼓舞し続ける。セービングに自信があり、「来たものは止めるだけ」と頼もしい。チームのピンチを救うビッグセーブも多い。明るいい性格でチームのムードメーカー的存在だ。市内在住。

開幕戦白星のあと、公式戦4試合黒星でした。今シーズンここまでを振り返ってみていかがですか。

吉葉選手 公式戦4連敗ですね。今はそういう流れだと思っています。下を向いてもしようがない。力はあるチームだと思っているので、練習から120%で臨み、声を掛け合って、自分たちを信じてやっていくだけです。
本田選手 GKの視点から見ていると、ピンチが多くて、チャンスが少ない印象ですね。ボールをつなぐところがうまくいっていないかな。とはいえ自分はいずれの選手ではないので、仲間を信じて自分のやるべきことをやるだけ。チーム全員が意識を変えてやっていかねければいけないと思います。チーム状況を悲観し過ぎず、前を向き、ポジティブに考えているのが伝わってきます。キャプテンとしての気持ちはどうですか。

クラブ生え抜きの万能型ストライカー
FW 吉葉暉選手

複数のポジションをこなす頼れるキャプテン
DF 喜多佑真選手

チームの守護神でムードメーカー
GK 本田大雅選手

喜多選手 チームとしては今は悪い流れの中にいますよね。決められるところで決めていけば、というのがあります。いい選手は揃っているんで、自分は今仲間を信頼してボールを送っている。選手同士声を掛け合っていて、明るくやっていきたいですね。

本田選手 アイデンティのホームゲームを観戦してみようかなと思ってる方もいると思います。みらい平グラウンドの魅力は何だと思いますか。

吉葉選手 やっぱりプレーする選手との距離が近いこと。最近は見に来てくれる人も増えてきて、良い雰囲気になってきています。見に来てくれるだけで選手はすごく力になるので、楽しみながら応援してほしいですね。
喜多選手 太鼓を叩きながら応援してくれるサポーターがいいます。チャント（応援歌）も歌ってくれています。ぜひ、一緒に歌って歌って、ホームの雰囲気をつくってほしいですね。選手とサポーターが一体となって、楽しんでほしいと思います。
本田選手 市内の小学校でもサッカー教室があり、そこで教えています。子どもたちからす

れば、普段サッカーを教えるくれているコーチが、試合に出て戦っている姿を間近に見ることが出来ます。そういう「距離の近さ」がリーグとは違った魅力があると思います。子どもたちにコーチの戦っている姿を見たいですね。自分も含め市内に住んでいる選手もいます。市内のスパパーなどで会うと、声

をかけてくれる子もいるのでうれしいです。もっと市民の皆さんと交流して、魅力を発信していきたい。そのためにも、気持ちを切り替えて、次の試合は勝てるように、チームのコンディションを上げていきたいです。
吉葉選手 僕はU世代のカテゴリーからクラブに育ってこ

たいですし、つくばみらい市の皆さんにもプレーで魅せたいですね。
—皆さんありがとうございます。まずは1勝すれば、状況が変わりそうな気がします。応援していますので、がんばってください。

特集終わり■

「リーグとは違った「魅力」がある。楽しみながら応援してほしいですね。」



冗談を交えながら、終始フレンドリーな雰囲気の中、快くインタビューに臨んでくれた3選手。こうした距離の近さも、このクラブの魅力なのだろう。選手同士の仲の良さや、お互いの信頼も感じることができた。

アイデンティみらいのキープレイヤーにインタビュー！ 選手との距離が圧倒的に近い。 ぜひ、体感してほしいですね。